

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:R6年 2月 16日

事業所名:わかくさ大庄

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	クラスを2クラスに分離しご利用者様の特性に応じたクラス分けをしております。場合によって3クラスの対応をさせていただいております。	2名の方が「どちらともいえない」1名の方が「いいえ」1名の方が「わからない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	今後とも面談時などで見学対応をさせていただき、分かりやすいよう配慮いたします。
	2	職員の適切な配置	ご利用者様2名に対して1名の職員を配置しており、1日の職員数は6~7名の配置をしております。	2名の方が「どちらともいえない」1名の方が「いいえ」1名に○を、あとの方は「はい」に入れていただき、暖かいお言葉もいただいております。	今後もこの人数を確保し、保護者様により一層分かりやすいようにしていきたいと思っております。
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内の構造化を行い、ご利用者様に合わせた環境設定にしております。	1名の方が「どちらともいえない」2名の方が「わからない」1名の方が「いいえ」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	面談時などで見学対応をさせていただき、分かりやすいよう配慮いたします。
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	各居室に消毒薬を設置し、1行為1手洗いを基本とし、特性及び、行動範囲に合わせ、過ごしやすい空間になるよう配慮しております。	1名の方が「わからない」3名の方が「どちらともいえない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	日々試行錯誤を繰り返しご利用者様にとって過ごしやすい環境を作って参りたいと思っております。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	毎日の朝礼、職員会議を開催し、職員自らが発言・立案できる場所と機会を設けております。		毎日の朝礼、職員会議を開催し、職員自らが発言・立案できる場所と機会を設けております。
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は第三者評価を受けておりませんが今後は検討していきたいと思っております。		現在は第三者評価を受けておりませんが今後は検討していきたいと思っております。
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	法人内で新人、中堅職員に対しての各種の研修を定期的実施しスキルアップを図っております。事業所内でも研修をその都度しております。		法人内で新人、中堅職員に対しての各種の研修を定期的実施しスキルアップを図っております。事業所内でも研修をその都度しております。
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	半年に1回、年に2回個別支援計画書の説明の面談及び利用時の連絡ノート及び相談支援専門員と教育機関との連携についても評価しております。	全員の方が「はい」に○を入れて頂きました。温かいお言葉もいただいております。	保護者様にはその都度何かあれば説明はさせていただき今後もそれは継続していきたいと思っております。
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別の活動、集団の活動の様子を分析し支援内容に記載しております。		面談等で説明させていただいたこととその後、保護者様からお伺いしたことを踏まえ取り組んでいきたいと思っております。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	県指定の個別支援様式を基礎としご利用者様の支援に必要な項目を優先順位別に3項目を掲げ保護者様に面談をして説明をしております。	全員の方が「はい」に○を入れて頂きました。温かいお言葉もいただいております。	面談だけではなく保護者様からもしくは関係機関からの質問にも返答できるよう今以上に迅速に対応出来るよう配慮いたします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	毎日職員間では午前中やセッション終了後等、ご利用者様の療育内容や支援内容、注意する点を話し合い、職員全員で把握するようにしております。	1名の方が「わからない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様の方と連携に努めて参りたいと思っております。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	担当者がご利用者様の日々の様子を職員全員に伝え、個別支援計画を基に今どういった事が必要なのかを立案しております。		現状で満足せず、さらに保護者様の方と連携に努めて参りたいと思っております。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	感染対策を徹底しながら、土曜日や長期休暇期間中には、季節ごとのイベントや制作活動を実施させていただいております。	2名の方が「どちらともいえない」1名の方が「わからない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様の方と連携に努めて参りたいと思っております。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	固定化も必要な時がありますが、長期間固定化することがないように職員一人一人が意見を出し合い決定しております。		現状で満足せず、さらに保護者様の方と連携に努めて参りたいと思っております。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に朝礼をし、その日の全職員がご利用者様一人一人のことを把握します。その後、クラスごとに分かれて、細かな打ち合わせをしております。		支援開始前は朝礼をし、その日の全職員がご利用者様一人一人のことを把握します。その後、クラスごとに分かれて、細かな打ち合わせをしております。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	送迎業務終了後職員間で(クラスごと)振り返り反省点や気づいたこと等をまとめ、朝礼ノートに記載し全職員に周知出来るようにしています。		送迎業務終了後職員間で(クラスごと)振り返り反省点や気づいたこと等をまとめ、朝礼ノートに記載し全職員に周知出来るようにしています。
	10	日々の支援についての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	日々の支援の記録はご利用者様すべてにおいて作成しております。なにかあればすぐに、周知し解決しております。		日々の支援の記録はご利用者様すべてにおいて作成しております。なにかあればすぐに、周知し解決しております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	担当職員と話し合いモニタリングしたこと、相談支援専門員と協議したことも計画に盛り込み作成しております。		担当職員と話し合いモニタリングしたこと、相談支援専門員と協議したことも計画に盛り込み作成しております。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援専門員が随時当事業所に訪問し、ご利用者様の様子を確認、児童発達管理責任者、担当職員と会議をして今後の療育等に反映しております	相談支援専門員が随時当事業所に訪問し、ご利用者様の様子を確認、児童発達管理責任者、担当職員と会議をして今後の療育等に反映しております	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当者なし	該当者なし	
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当者なし	該当者なし	該当者なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	当事業所は、児童発達支援2か所、放課後等デイサービス4か所の事業所を持っております。同系列はもちろんのこと、保護者様からの依頼、もしくは支援上必要に応じて教育機関に出向き学校との連携も図っております。また、学校の担任が当事業所に見学に来られて見学するケースもあります。	当事業所は、児童発達支援2か所、放課後等デイサービス4か所の事業所を持っております。同系列はもちろんのこと、保護者様からの依頼、もしくは支援上必要に応じて教育機関に出向き学校との連携も図っております。また、学校の担任が当事業所に見学に来られて見学するケースもあります。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	弊社は令和2年6月に障害福祉サービスの開所をし現在、18歳以降の支援に向け、ご利用者様の特性に合わせた作業も取り入れております。それまでの指先の巧緻性、社会性等優先的に習得していただいております。また、外部への情報提供が必要な場合は保護者様の承諾のもと提供しております。	弊社は令和2年6月に障害福祉サービスの開所をし現在、18歳以降の支援に向け、ご利用者様の特性に合わせた作業も取り入れております。それまでの指先の巧緻性、社会性等優先的に習得していただいております。また、外部への情報提供が必要な場合は保護者様の承諾のもと提供しております。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	相談支援専門員を通じて連携を取っております。研修等においても専門機関だけでなく、育成会開催の研修にも参加をしております。	相談支援専門員を通じて連携を取っております。研修等においても専門機関だけでなく、育成会開催の研修にも参加をしております。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在はしていません	11名の方が「わからない」6名の方が「いいえ」に○を入れておられ、「はい」は0名でしたが、現状のままでよいとお言葉を頂いております。	今後は情勢を考え、保護者様とも連携を図りながら検討していきたいと思っております。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	今年度は、コロナ禍の為、実施していません。しかし、地域住民とは何かあれば連絡をいただけるような体制になっております。		実施していません。しかし、地域住民とは何かあれば連絡をいただけるような体制になっております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	年2回の面談、毎日の連絡ノート及び送迎時に支援内容や様子をお伝えしております。また、利用者負担については、契約時及び、請求時に明細にてお知らせしております。	1名の方が「どちらともいえない」1名の方が「わからない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様と連携に努めて参りたいと思っております。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	年2回の面談(リモート含む)を通して説明をさせていただいております。	全員の方が「はい」に○を入れて頂きました。温かいお言葉もいただいております。	現状で満足せず、さらに保護者様と連携に努めて参りたいと思っております。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者様からのご要望に応じてご家庭でしていただくこと等お伝えしております。	4名の方が「どちらともいえない」8名の方が「わからない」1名の方が「いいえ」2名の方が「はい」に○を入れておられましたが、現状のままでよいとお言葉を頂いております。	今後はさらにご家庭との連携を深めさせていただきたいと思っております。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡ノートを通じてご利用者様にとって良い方法を考えております。日頃からのご協力ありがとうございます。	2名の方が「どちらともいえない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様と連携に努めて参りたいと思っております。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	連絡ノートを通じてご相談を受けた場合、即答できることは即答し、すぐに無理な場合は後日ご連絡をさせていただき解決させていただいております。	1名の方が「どちらともいえない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様と連携に努め安心してご利用できる事業所にして参りたいと思っております。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会、保護者会は当事業所には存在していないが、保護者様同士の連携及び職員との連携を兼ねて交流会は実施しております。	1名の方が「どちらともいえない」8名の方が「わからない」8名の方が「いいえ」に○を入れておられ、「はい」は9名でしたが、現状のままでよいとお言葉を頂いております。	今後とも情勢を考え、時期を明確に決め、感染対策をしっかりと定期的に交流会等を通じてお会いできる機会を増やしていきたいと思っております。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情はほとんどありませんが、あった場合は事業所全体で迅速に対応し、必ず解決していきます。	2名の方が「どちらともいえない」2名の方が「わからない」1名の方が「いいえ」に○を入れておられ、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	今後はさらに保護者様のご意見を大切に、安心してご利用できる事業所にして参りたいと思っております。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚シンボル・絵カードを使った療育内容や保護者様に対しては毎日連絡ノートを書きよりの事業所にしていくよう工夫しております。	1名の方が「いいえ」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様と連携に努めて参りたいと思っております。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な会報等はございません。	4名の方が「どちらともいえない」1名の方が「いいえ」に○を入れておられ、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。現状のままでよいとお言葉を頂いております。	今後はさらに保護者様のご意見を大切に、定期的に実施し、実施した場合は、速やかに保護者様にご報告をしたいとおもっております。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報に関しては、ブログ等は保護者様の承諾を得た方のみ掲載しております。また契約時には個人情報についての資料に押印いただき、当事業所で管理しております。	1名の方が「わからない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	現状で満足せず、さらに保護者様と連携に努めて参りたいと思っております。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	定期的にマニュアルを見直し、作成をさせていただいており、職員には職員会議等において周知しております。	1名の方が「わからない」3名の方が「どちらともいえない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	今後ともご利用者様を含めた避難訓練を定期的に行い職員同士でマニュアルの徹底を今後も継続していきたいと思っております。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	マニュアルを参考にし臨機応変に対応出来るように職員に周知しております。	7名の方が「わからない」1名の方が「どちらともいえない」に○を入れておられましたが、それ以外の方は「はい」に○を入れて頂きました。	非常災害については、定期的な訓練を実施いたします。実施した場合は、速やかに保護者様にご報告をしたいと思っております。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	職員会議で全職員に周知しております		職員会議で全職員に周知しております。さらに虐待防止委員会を設置いたします。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束をしなくてはならないご利用者様はいませんが、災害時(車いす乗車時の胸ベルト等)、迅速かつ安全に対応するためにはやむを得ず行う場合があるということを年2回の面談時に同意書に基づく説明を行った上同意頂きました。		身体拘束をしなくてはならないご利用者様はいませんが、災害時(車いす乗車時の胸ベルト等)、迅速かつ安全に対応するためにはやむを得ず行う場合があるということを年2回の面談時に同意書に基づく説明を行った上同意頂きました。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	保護者とも相談し食品を扱う時には電話や送迎時を利用し連携をとっております。契約時にはアセスメントシートをお渡しし詳細を記入していただいております。		保護者とも相談し食品を扱う時には電話や送迎時を利用し連携をとっております。契約時にはアセスメントシートをお渡しし詳細を記入していただいております。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	毎日の朝礼・朝礼ノート・週一回の職員会議で再度職員には周知し再発防止に努めております。		毎日の朝礼・朝礼ノート・週一回の職員会議で再度職員には周知し再発防止に努めております。